

泌尿器科専門医プログラム

定員
7名



プログラム責任者
腎泌尿器科学講座
羽瀨 友則 教授

**専門研修
担当者先
連絡**
井上 高光 准教授
TEL.018-884-6156 FAX.018-836-2619
E-mail takmitz@gmail.com
HP <http://www.med.akita-u.ac.jp/~hinyoki/>



プログラムの特徴

研修基幹施設である秋田大学医学部附属病院において高度な医療に携わり、本邦の泌尿器科標準治療や先進医療を経験するとともに、地域医療を担う連携病院での研修を経て秋田県の医療事情を理解し、泌尿器科専門医として秋田県や日本の医療を支える人材、さらには世界に情報を発信できる人材の育成を行います。

プログラムの説明

秋田大学医学部附属病院を研修基幹施設とし、日本泌尿器科学会拠点教育施設、日本泌尿器科学会関連教育施設、基幹施設を補完する施設からなる21の連携施設から構成されています。泌尿器科専門医に必要な知識や技能の習得と同時に、地域医療との連携や他の専門医への紹介・転送の判断も的確に行える能力を身につけることができるよう配慮しています。同時にロボット支援手術や腹腔鏡手術などの最先端の低侵襲医療、小児泌尿器科、女性泌尿器科、腎移植、透析医療、生殖医療、緩和医療などの幅広い領域の研修が可能で、サブスペシャリティの研修も十分に経験できます。さらに、秋田大学医学部附属病院では、臨床研究や基礎研究を行うことができます。また専門研修後には、大学院への進学や専門分野の研修も可能です。

専門医、指導医、出身地、施設認定、関連施設など

- 秋田大学医学部附属病院に在籍する指導医(卒業大学、出身高校)
羽瀨友則(京都大学、洛北高校)、佐藤滋(岩手医科大学、秋田高校)、成田伸太郎(秋田大学、秋田高校)、井上高光(秋田大学、千葉高校)、齋藤満(秋田大学、福島高校)、沼倉一幸(秋田大学、盛岡一高)、神田壮平(秋田大学、都立国立高校)、千葉修治(秋田大学、青森高校)、奈良健平(福井大学、大館鳳鳴高校)
- 秋田大学医学部附属病院における専門医(人数)
日本泌尿器科学会専門医9名、日本泌尿器科学会指導医8名、日本透析医学会専門医7名、日本透析医学会指導医4名、日本癌治療学会癌治療認定医7名、日本泌尿器内視鏡学会技術認定医6名、日本内視鏡外科学会技術認定医6名、日本移植学会移植認定医4名、日本臨床腎移植学会認定医3名
- 日本泌尿器科学会拠点教育施設(指導医数)
市立秋田総合病院(4人)、秋田赤十字病院(3人)、大曲厚生医療センター(3人)、平鹿総合病院(3人)、由利組合総合病院(3人)、秋田厚生医療センター(2人)、能代厚生医療センター(2人)、岩手県立胆沢病院(3人)、十和田市立中央病院(2人)、水戸医療センター(2人)、大館市立総合病院(1人)(11施設)

あきた泌尿器科専門医研修プログラムキャリアパス

	卒後	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
Aコース	卒後臨床研修			泌尿器科専門医研修 教育関連施設研修/ 大学研修					泌尿器科専門医 透析医学会専門医(認定医?)		
Bコース	卒後臨床研修			泌尿器科専門医研修 教育関連施設研修/ 大学研修				大学院/社会人大学院	学位取得	教育関連施設/ 大学	
Cコース	卒後臨床研修			泌尿器科専門医研修 教育関連施設研修/ 大学研修				大学院	学位取得	教育関連施設/ 大学	

↑ 泌尿器科専門医研修宣言 ↑ 泌尿器科専門医試験、専門医取得

